# 令和７年度大学・高専機能強化支援事業
# （支援２：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）【高等専門学校】
# 事業概要

令和7年2月申請時点

## １．基本情報

| 高専名 | 滋賀県立高等専門学校(仮称) | | |
|---|---|---|---|
| 設置区分 | 公立 | 学校種 | 高等専門学校 |
| 都道府県 | 滋賀県 | 事業期間 | 令和7年度～令和10年度 |
| 申請区分 | 高等専門学校 | 改組内容 | 学科・コース等の設置・増員 |
| 事業計画名 | 滋賀県立高等専門学校　整備計画 | | |

## ２．事業概要

人口減少社会にあって、本県が国際的な競争力を維持し、また、経済・社会・環境のバランスが取れ、将来世代も含めた誰もが新しい豊かさを感じられる社会を構築するにあたっては、専門的技術を用いて価値創造ができる実践的な高度専門人材が不足していることが課題であるとの認識に立ち、**滋賀発で次代の社会を支える高度専門人材の育成と技術者の育成・交流のためのハブとしての地域産業・社会への貢献**のため、令和10年４月に県立で高等専門学校を開校する。

学びの提供にあたっては、情報技術を多分野に活かせる人材を育成することを目指し、設置予定の機械系・電気電子系・情報技術系・建設系の**全てのコースにおいて、情報技術を「新しい時代に必要となる基礎力」**ととらえ、一般科目、専門科目の両方に設定することとしてる。また、PBL等の実践力を磨く科目をカリキュラムの中心に据える等により、**専門的技術を用いて価値創造ができる「知行合一」の高度専門人材を育成する**ための高等教育機関を創る。

## ３．情報系組織

情報系組織の設置・増員計画（赤字は事業対象組織）

| | 組織名 | 入学定員 | | 設置・増員等時期 | 設置等後の主な学位分野 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 事業開始時 | 事業終了時 | | |
| 学科 | 情報技術系コース(仮称) | 0 | 20 | R10設置 | 工学関係 |
| | | 0 | 0 | | |
| | | 0 | 0 | | |
| | | 0 | 0 | | |
| | | 0 | 0 | | |
| | | 0 | 0 | | |
| | | 0 | 0 | | |
| | | 0 | 0 | | |
| | 計 | 0 | 20 | 増員数 | 20 |

高専全体の収容定員に占める情報系組織の収容定員の割合

| | 学科 |
|---|---|
| 増員前（R7.4.1時点） | |
| 増員後 | 16.7% |
| 増分 | |

# 令和7年度　高等専門学校　滋賀県立高等専門学校(仮称)

| 事業計画名 | 滋賀県立高等専門学校 整備計画 |
|---|---|

## 基本情報

| | |
|---|---|
| 改組内容 | 学科･コース等の設置･増員 |
| 所在地 | 滋賀県野洲市 |
| 増員する情報系組織名 | 情報技術系コース |
| 入学定員増数及び増員時期 | 20名以上(R10) |

## ＜社会や地域のニーズ･課題＞

〇内陸工業県でありながら、県内に高専がなく、県内産業界からのニーズが高い

・アンケート調査で県内企業166者のうち148者が県内に高専が設置された場合に高専卒業生の採用意向あり

・企業課題を解決する技術人材として採用時の高専卒業生に備えてほしい基礎技術分野として、県内製造業246者のうち、59者が情報系分野と回答

## ＜学科等の体制強化の概要･コンセプト･特徴など＞

〇令和10年4月に県内初の高専を県立で設置予定

【目的は2つ】

①滋賀発で次代の社会を支える高度専門人材の育成

②技術者の育成・交流のためのハブとしての地域産業・社会への貢献

【学科･コースの概要】

工学系の総合学科(定員：120名)を設置

→　４つのコースを設定(そのうちの１つとして情報技術系コースを設定)

※２年生進級時にコース選択を実施

→　情報技術系に限らず全コースにおいて情報系科目を履修

※一般教養科目でも情報系科目を設定

## ＜教育内容･育成する人材像＞

〇専門的技術を用いて価値創造ができる「知行合一」の高度専門人材を育成

【5つの要素】
①次代の滋賀とその産業を支える「高度専門人材」
②問題発見・解決力の素養を兼ね備えた人材
③情報技術を多分野に活かせる人材
④世界の様々な分野や人とつながれる人材
⑤近江の心が備わった人材

〇AI 、サイバーセキュリティ、データサイエンス、数理科学、計算科学、材料など、Society5.0の実現を支える人材の確保があらゆる分野で急務となっていることを踏まえ、情報技術をベースとした学びを構築

## ＜初中段階･他大学･高専･企業･自治体等との連携＞

〇県内の小学校に対して出前授業を実施

R6：野洲市内５校（プログラミングロボット操作体験）　R7以降も継続して実施を予定

〇近隣高専と協力して商業施設で体験型イベントを実施

R6：(場所)イオンモール草津　(期間)２日間　(体験講座参加者数)　272名

(協力高専)福井高専、鈴鹿高専、舞鶴高専、奈良高専

R7以降も継続して実施予定

〇共創フォーラムの立ち上げと運営

R4.5：県内経済団体等と設置者の９者で「共創宣言」　R5.11：共創フォーラム立ち上げ

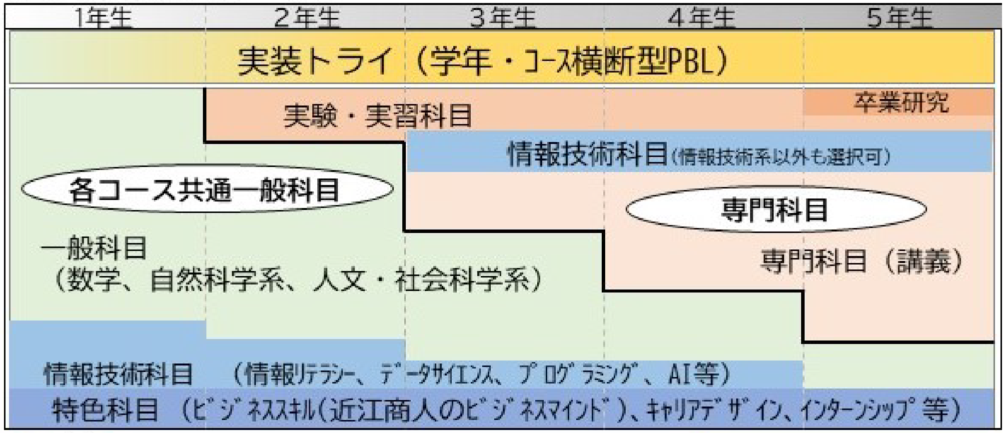
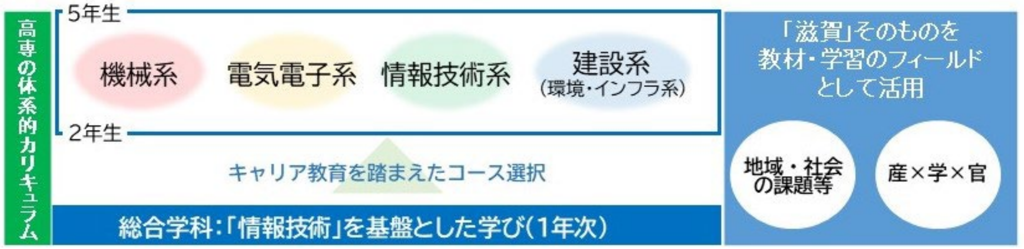
→　イベントの実施(これまで３回実施)や企業訪問(40者以上)、メールマガジンの配信等による情報提供および協力内容の具体化に向けた検討の実施

## ＜女子学生、社会人学生、留学生等の確保＞

〇女子学生が通いやすい施設の整備と女子中高生の理系進路選択への支援

更衣室の複数設置、パウダーコーナーの設置などを整備

これまで4年間にわたり「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」を実施

〇技術者の育成･交流のためのハブとしての企業関係者の学びに資する取組検討

【カリキュラムイメージ】